

# みやけの風

## 第 142 号

平成 15 年(2003年) 9月 20日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター 気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmpo.org

日本シリーズで阪神の相手になるのはダイエーか、はたまた西武か。阪神の優勝セールは京王百貨店でやっていますが、行かれた方はいますか？  
 さて、朝夕は涼しくなっていてめっきり秋の気配ですね。日中はまだまだ暑いので体調には充分気をつけ、今日一日という日を大切に過ごしたいものです。涼しくなれば作業もはかどるので滞在帰島に申し込まれる方も増えるでしょう。気をつけて行って来てください。

### 【おわびと訂正】

みやけの風141号、みんなの声のなかでご紹介した、「五木ひろしのコンサート」は、江戸川区に避難の坪田在住、佐藤秀子さんの原稿でした。せっかく原稿を寄せてくださった佐藤秀子さん、間違えてしまった浅沼京子さんにもご迷惑をおかけしました。この場をお借りして、お詫び申し上げます。  
 (三宅島支援東京センター みやけの風担当)

### みんなの声

#### 十五夜の晩に

仕事帰り、ずいぶんきれいなお月様だなアと思っていたらその日は十五夜様でした。  
 三宅にいたら、早朝から注文の大福作りで忙しい一日を送っていただろうに、そんなことさえ忘れてしまう三年の月日です。

月を見るたび思い出す、切ないけれど大好きな話。義母から聞いた、主人の祖父母のこと。

祖父は五人の幼子を残し、出征する際、「月が出たら眺めろよ。自分も必ず見るから」と、祖母に約束して戦地に赴いたそうです。

二人で一緒に眺める日を待ち望み、何度、夜空を見上げたことでしょうか。けれど。その願いは、叶いませんでした。終戦を迎えながらも、小笠原母島にて、帰還の日を待つ中、急性腸炎を患い、亡くなってしまったのです。夏の暑い夜、スーッと風が頬をなで、吹き抜ける時、祖母は縁側でつぶやきます。「ああ、お父さんが涼しい風を送ってくれたじなあ」

避難の中、日々の生活に追われる毎日だけれど、月を眺め、風を感じ、大事に人に想いを馳せる。そんな心を忘れずに過ごしたい。

ちよっぴり反省させられた十五夜の晩でした。

(武蔵村山市 築穴 美喜子)



#### 「アカコッコ館自然講座」を開催して

アカコッコ館では避難中の現在、都内での行事を行っています。6月から9月までの間は月1回、都内にある日本野鳥の会の事務所で「アカコッコ館自然講座」を開催しました。この講座は、三宅島の自然と現状について、より多くの人に知ってもらおうという主旨で行っている村の事業です。講座で扱ったテーマは、「野鳥」、「森林」、「海の生き物」、「火山」の4テーマで、資料をもとに島の自然の貴重さを説明し、最近の島の様子をスライド写真を交えながら紹介していきました。

講座には、住民の方や三宅島自然ふれあい友の会会員の方を始め、噴火前にボランティア活動のために島に訪れていた方や野鳥観察をしに何度も島に来られていた方などの参加がありました。噴火前の自然に思いを馳せ、今の自然はどうなっているかを知りたいということで参加された方が多かったようです。いずれの回も比較的少人数の集まりであったため、意見交換や質問、参加者の近況報告などをざっくばらんな形で行うことができました。

9月の火山の話 最後に、自然講座は終わり、次回は内容を一新したものを10月に開催の予定です。詳しくはまた、当紙面をお借りしてお知らせしますので、ぜひご参加くださるようお願いいたします。

(アカコッコ館 山本 裕)

**郵便局からのお知らせ**

平成15年9月6日

**三宅島内での郵便物の取り扱いについて**

[三宅島局・坪田局臨時出張所]

三宅島の郵便局では、島内の郵便サービスを拡充するため、『東京中央郵便局三宅島臨時出張所』を開設することになりました。従来は、郵便物の配達およびゆうパックの引き受けのみでしたが、今後は、下記のサービスを行います。また、郵便局のお預かりからお届けまでの時間も、近く短縮できる予定です。今のところ十分なサービスとはいえませんが、たくさんのご利用をお待ちしております。

**業務開始日**：平成15年9月8日

**所在地**：〒100-1101 三宅村神着193番地 杉山運送(株)

**主な業務サービス内容**

・郵便切手、収入印紙、ゆうパック包装用品の販売

・郵便物の引き受け

<ゆうパック>

「料金着払い」だけでなく「元払い」でのお引き受けもいたします。

集荷に伺います。(なるべく余裕を持ってご連絡ください)

<通常郵便>

「速達」以外の特殊取り扱い(書留等)はできません。

ポストは閉鎖しているため、三宅島臨時出張所までご持参ください。

・郵便物は従来どおり、火曜、木曜、土曜にお届けします。

**三宅島内あて郵便についてのご注意**

・差出人様に「宛て先」を伝える際には、下記の ~ の記入をご依頼ください。

三宅島現地対策本部気付

郵便番号

(神着：100-1101 / 伊豆：100-1102 / 伊ヶ谷：100-1103 /

坪田：100-1211 / 阿古：100-1212)

住所・番地

事業所名および所属団体名(個人宛ての場合も必要です)

・「なまもの」「チルド郵便」の取り扱いはお断りしています。

**お問合せ先**

三宅島局・坪田局臨時出張所

TEL：03-3284-0382 フリーダイヤル：0120-380-646

東京中央郵便局三宅島臨時出張所

TEL：04994-2-0027 携帯電話：090-4840-7388

**三宅島島民連絡会より**

三宅島島民連絡会では、「火山市民ネット」第2回フォーラムの参加者を募集しています。昨年の洞爺大会に続く第2回めとなる今回のフォーラムは、噴火被災地3団体の住民が連携しあい、被災住民が抱える問題や、特に三宅島における帰島復興の問題について、今後の対応策について話し合う貴重な場です。この趣旨と目的をご理解いただき、ぜひご参加ください。参加ご希望の方は三宅島島民連絡会事務局まで、TELもしくはFAXでお申し込み下さい。

**募集要項**

**日 程**：11月21日(金) 12:00～13:00の飛行機にて出発(予定)

11月22日(土) 午前中 災害記念館等、復興状況視察 午後 フォーラム参加

11月23日(日) 午前中 「雲仙普賢岳フェスティバル」参加 夕刻羽田着

**費 用**：羽田～長崎 航空運賃(約5万円)・・・各自負担

都内交通費・懇親会参加費他(約1万円)・・・連絡会負担

現地宿泊費・長崎県内交通費・・・島原普賢会負担

**募集人数**：5名

**締め切り**：9月30日(火)

**主 催**：火山地域の市民団体相互支援ネットワーク(略称「火山市民ネット」)

**問い合わせ・申し込み**：

三宅島島民連絡会事務局 TEL/FAX：03-3269-1243